

令和 7 年度 第 2 回市川町総合戦略会議録

会議名	第 2 回市川町総合戦略会議
開催日時	令和 7 年 11 月 12 日(水)10 時 00 分～11 時 50 分
開催場所	市川町役場 4 階相談室
出席者	委員：小野康裕、藤田正広、井野健三郎、濱田崇広、村上和男、小西正弘 山下彰彦、村田敏朗、中野大輝、石川伸也 町 長：町長、尾花副町長、岡本教育長、木村企画政策課長、青木課長補佐、堀次係長
会議の議題	1.開会 2.あいさつ 3.協議 (1)第 3 期市川町総合戦略事業について (2)その他 4.閉会
会議資料	【事前配布】 ・次第 ・次期総合戦略新規事業提案_8 月提案分 ・第 3 期総合戦略会議資料 ・総合戦略委員名簿 【当日配布】 ・座席表 ・チラシ (石妙寺紅葉まつり、春日太一講演会、防災フェスティバル、市川マラソン)
1.開会 企画政策課長	皆さんおはようございます。 定刻となりましたので、ただいまより第 2 回市川町総合戦略会議を開催いたします。 本日は委員の皆様におかれましては何かとご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。 開会に先立ちまして、市川町町長より挨拶をお願いいたします。
2.あいさつ 町長	おはようございます。総合戦略会議にお集まりいただきありがとうございます。市川町も次の計画を進めていますが、今回は第 2 回市川町総合戦略会議ということで、前回皆さんのいろいろな意見を出していただきました。 それを踏まえて一部修正をしましたので、この会議で引き続き皆さまの意見をお聞かせいただきます。 昨今市川町も人口減少の課題が大きいです。しかし、私自身市川町は案外捨てたものじゃないと思っています。 なぜならば、播但線も通っている姫路からも近いエリアにある。そういうふうな観点から産業誘致を進め子育て世代も頑張ってもらえるような町づくりも進めていきたいと思います。 本日は皆さん、貴重な意見をいただきたいと思います。 本日は本当にありがとうございます。
企画政策課長	本日の欠席者の報告をさせていただきます。岩木委員、喜田委員、吉田委員から、欠席のご連絡をいただいております。 新しく委員になられました方がおられます。9 月議会で構成替えがございまして、前回の長尾議長から中岡輝昭議長に代わられております。中岡委員さまにおかれましては、公務のた

令和7年度 第2回市川町総合戦略会議録

	<p>め欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>行政側では、地域振興課の近藤課長も本日欠席です。</p> <p>また、令和6年度7年度の2年間、総合計画と総合戦略の改定業務を委託しております株式会社ぎょうせいの田口さん、竹本さんが同席をさせていただいております。</p> <p>それでは座って説明をさせていただきます。</p> <p>まず、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前にお送りさせていただきました資料ですけれども、本日皆さんお持ちでしょうか。</p> <p>事前配分としまして、第2回の総合戦略会議の次第、令和7年度市川町総合戦略会議の委員名簿、8月に提案をさせていただいた次期総合戦略事業提案、冊子になっております第3回総合戦略会議資料でございます。</p> <p>それから本日机上に配布しております座席表とチラシ関係です。</p> <p>それでは早速ですが、会議次第の3.協議に入りたいと思います。</p> <p>ここからの進行につきましては、委員長にお願いをしたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>
3.協議 委員長	<p>それでは座ったままで失礼します。</p> <p>第2回の総合戦略会議ということで、前回、皆さんからの意見で通常の業務については掲載を省く、ということで、今回の資料はガラッと変わって出てきております。絞られた中で、いよいよ本腰が入ってきたのかなというイメージを持っておりますが、人口減少が本当に目に見えて感じ取れるようになってきていますので、皆さんの意見を伺いながら総合戦略がしっかりとまとまっていくように期待をしたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは事務局より資料に基づいて説明をお願いします。</p>
課長補佐	第3期市川町総合戦略事業について説明
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>何か質問があればお願いします。</p>
委員	<p>冊子が見やすくなりました。</p> <p>基本目標のKGIがあり、先ほど説明があった細かいところのKPIがありますが、最終的にKGIを達成したいということで良いのでしょうか。</p>
課長補佐	KGIを最終目標にしています。KGIのところに担当課を書いています。KGIについては、複数課がまたがって事業をしており、各課のKPIが集まってKGIの目標達成に向かっているかと思います。
委員	例えば、基本目標4について、コミュニティバスがKGIになっていますが、脱炭素とかは全く関係ないと思います。
課長補佐	<p>こちらは、高齢者福祉の充実というところで上げていますが、KPIにもコミュニティバスの利用者数が上がっているの、ご指摘の通りKGIを考え直さないといけないかなと思います。</p> <p>まずは、小さな事業のKPIを積み重ねていって大きな目標KGIを達成したいということです。</p>
副委員長	目標のことで、施策体系というのは基本目標1から4と表記されていて、この言葉が活字として表に出ることはありますか。
課長補佐	あります。
副委員長	表に出るのであれば、基本目標1の稼げる地域産業をつくる、基本目標2の人が集い、関わ

	<p>り続けるまち、基本目標3の子育て・教育で選ばれるまち、基本目標4の安心と快適を支えるまち、と書いてあり基本目標1だけ営利企業の目標の気がする。自治体の目標としては、ちょっと考えないといけないと思います。</p> <p>まちで統一するのであれば、地域産業を育てるまちとか、創出する意味の創るまちとかに変えないと、問題かなと思います。</p> <p>それと、基本目標4の安全と快適を支えるっていうのは非常に高度な目標だと思います。よく安心と安全というような言葉が使われますが、これも全く意味が違う。安心や快適というのは主観的な考え方で、これを例えば、命、生命と生活を支えるまち、という言葉、客観的なものの見方をするような言葉にせず、主観的な表記にされた理由を教えてください。</p> <p>客観的な言葉の方が説明しやすいと思います。安全とか、安心という言葉をもってきているのは、主観的なものです。あなたが安心だと思って私は安心だとは思わない、そう言う方もいるので、こういうフレーズを並べる場合は表現を考えないといけないと思います。人によって快適だと思うことも違う、暖房が入っている部屋で暑いと思う人もいれば、まだ寒いと思う人もいますので、基準がとても難しい。</p> <p>実現が不可能な、かなり努力を要するような目標を書かれていると思いますので、良いとか悪いとかではなく、言葉を考えた方が良いのかなと思います。</p>
企画政策課長	<p>基本目標1の稼げるという部分で行政としてどうかと思われるかということで、こちらの目的としては、1 ページに記載があります、持続可能な地域経済の構築というところで、地方創生2.0 では、この持続可能っていう部分が結構強調されており、地域産業や農業が続けるためには、稼がないと続けられないという意味で挙げさせてもらっています。ただ言われている通り、見た感じと引かかる部分もありますので見直しをさせていただきたいと思います。</p> <p>それから、基本目標4の安心と快適という部分も、もう少し生活に即したような形で、安全安心というのが大目標になりますので、そこもわかりやすく生活に密着したような形での言い回しで良いものがあれば検討させていただきたい。今すぐどうこう言うのはちょっとわからないです。</p>
委員長	<p>逆に私なんかは商工会の会長の立場としては稼げるって言っていたいて批判を浴びるぐらいのインパクトでないと埋没する自治体にしかならないのかなと思います。むしろ批判をいただくぐらいの表現の方が、これからの時代では大事かと思う。そんな中で、私からも質問させていただくと、4 ページの地域産業、稼げる地域産業作りのところですが、産業については新規事業の小規模事業者持続化補助事業で販路拡大がうたわれるが、農業について販路拡大はなくて、農地を守る方のことだけしか出てこない。時代の流れで、これからはやっぱり稼げる農業をここで入れておかないと農地を守るだけの農業をでは持続はできないので、そういったことも含めてもう少し検討が必要かなと私は思います。</p> <p>稼げるというインパクトについては、皆さんの意見を聞いて考えていただいたら良いと思います。</p> <p>農業そのものについてのところも一般企業と同じような考え方が必要な時代だと思います。稼げる農業、販路拡大の農業、販路を拡大する事業者に対しての補助金や支援は必要かなと思います。</p>
委員	<p>4 ページの稼げる地域産業をつくるということで、質問が2点あります。1点目、企業立地件数を4件とありますが、4社なのか4か所なのか、またその根拠を教えてください。</p> <p>2点目、産業団地開発と農業総合対策を新規事業としていますが、いずれも概算事業費の記載がないのは、何か意味がありますか。今までこれぐらいの金額でしたが予算措置します</p>

令和 7 年度 第 2 回市川町総合戦略会議録

	<p>というような資料がないと具体性が見えないので、今の段階で良いので教えていただきたい。</p>
課長補佐	<p>企業立地件数 4 件の根拠ですが、1 年に1件、来年度は準備期間ということで、単純に1年に1件企業さんが来てくれれば良いかと4社にしています。</p> <p>件ではなく、社に修正します。</p>
企画政策課長	<p>農業総合対策事業につきまして、新規でここだけ概算事業費が入っていないことについて、数年前にコロナ交付金の時に、農業者には耕地面積割や畜産関係であれば頭数に応じて補助金を出していたと思います。そういう事業をしたいと思い掲載していますが、市川町の財政状況で毎年できるような金額ではなく、5年間のどこかでできれば良いかと思い金額を掲載していません。また、財政協議で町単独での農業に対する補助事業は難しく、最近では物価高騰対策として国から交付金があり、今後も検討されているところですので、具体的な事業は決まっていますが5年間のどこかで農業施策に充てて事業をしたい、といった状況で金額は記入できていない状況です。</p> <p>また、質問 1 点目の産業団地開発・企業誘致推進事業につきまして、この事業は町主導でなく民間の力を借りて、官民共同事業で実施したいと考えています。町の予算を使って工業団地をどこかにつくるという事業ではございません。</p>
委員	<p>事前調査費とかは？</p>
企画政策課長	<p>当然調査費等は必要ですが、計画には掲載しなくても良いかなと。</p>
委員長	<p>農業の販路の意見ですが、アイアンハート号であちらこちらに PR に行かれているので、わざわざ予算をつけなくても町内の農家さんが紹介したいお米のパフレットなどを渡して、直接農家さんとやり取りしましょうというシステムを使って PR していけば、町内に十分税金が落ちると思います。知恵だけ使えば簡単にできることがあるので、そういうことをしてもらいたいです。</p>
課長補佐	<p>先日の担当課との協議で、ゴルフに振りすぎず広く町や特産品を PR することや販売することも考えるという意見がありました。</p>
委員長	<p>県内の市町でも、田舎と大阪のどこかと提携して、月に 1 回とか年に 3～4 回とか、場所を決めて販売に行かれたり PR したりされているところもあるので、そこまでできなくてもアイアンハート号が行っているので活用すればお金をかけずにできると思います。</p>
委員	<p>先ほどのところで、観光協会と我々財団法人が統合しているので、町の PR、観光事業を担っていく会社として、今までできなかった物販をアイアンハート号にアイアンヘッドも含めて特産品を乗せて PR していきましょと来年度事業について関係課と協議しています。県内、大阪、阪急グループに特産品をもっていきましょと進んでいます。</p>
委員長	<p>少子高齢化のところで人口は 1 万人を割ったか。</p>
企画政策課長	<p>まだ、10,500 人でギリギリ割っていない。</p>
委員長	<p>こどもの数がどれくらいの率で減っていったかグラフが欲しい。将来、社人研の数字のちょっと上をいきたいということだと思いますが、子どもの数がどうなっているかわからないということと、人口が半減したときに学校教育をどうするのかをしっかりと考えないといけないと思います。現状にばかり合わせていては、また同じことをしていけないといけない。何年後をめどに学校教育の在り方を考えているのか教えていただきたい。</p>
教育長	<p>小学校の統合は現在進んでいます。令和 13 年に小学校4小学校を1小学校に統合、こども園については令和 9 年度に東西あるこども園を 1 園に統合します。この路線は決まっています。令和 13 年度の小学校の統合についての最終決定はこの 3 月に決定しますが、おそ</p>

令和 7 年度 第 2 回市川町総合戦略会議録

	<p>らくその方向でいくと思います。問題はその先で、令和 13 年度に統合した時点では、川辺小学校に 4 校が集まり、1 年～3 年生は 1 クラスずつ 30 人程度、4～6 年生は 2 クラスができる規模になる予定です。その後は減り続くのではないかと予想されます。同時に中学生も減っていきます。そうなると令和 13 年度に小中一貫である義務教育学校という可能性もありますが、予算の問題で難しい状況です。川辺小学校、市川中学校の校舎の補強を行い利用した段階が続いた後、小中学生とも減っていく、その先に出てくるのが義務教育学校、その時は校舎の新設で 1 つの校舎になるということを将来的に描いています。</p> <p>ただ、具体的にはまだそこまでいっていない状況です。</p>
委員長	<p>問題は、人数が減り始めると親は子どもを私立にやってしまう。姫路市でも飾東、飾西あたりに親と子どもだけが街中にアパートを借りて通学させている問題が顕著に出てきています。こういうことが市川で起こらないとは絶対に言えない。子ども 30 人がそのまま市川中学校に行ってくれるかどうか。これから公立学校というのは相当厳しい状況になるので、どれだけの特色を出していけるのか、もう少し厳しい数字で見ないと心配かなという気がします。義務教育では内容も限られてくるので、見方に厳しさが必要なのかと考えます。</p>
委員	<p>小中義務教育課程の話がありましたが、本校は私立校で生徒募集に苦戦しています。その中で中学校の部活動地域移行について気になる点ではありますが、本校ではバレーボール部や柔道部においては近隣の中学生と一緒に練習を行って、新しい形の地域移行みたいな受け皿も模索しているところがあります。</p> <p>先日 10 月 2 日に神戸新聞で、県内 41 市町の中学校の部活動の地域移行の調査一覧が載っていました。その中で、すでに移行時期を定めて移行する市町も多いですが、未定であるという回答が市川町含めて 7 市町と公表されている状況で、どのような地域移行の内容にしていくかによって、やはりこれからの子育て世代が市川町に住み続けてくれるのか、また新たな定住者が来てくれるのかというのは、やはり一つの大きな選択肢かと思います。</p> <p>神戸新聞によると、今市川町では移行時期は未定で、卓球・野球で休日のみを実証実験済み、隣町 2 町との連携や運賃補助などは検討事項ということが公表されていました。(神河町、福崎町も未定。)</p> <p>現在の市川町ではどんな取り組みをされているのか、合わせて方向性を確認させていただきたい。</p>
教育長	<p>姫カツ、コベカツなどは令和 8 年度の 9 月からスタートします。そうすると他の市町も続くと思われますが、市川町では卓球・野球の休日のみ執行している状況です。これから先問題になるのが、人数がどんどん減ってくること、12 年後には市川中学校の生徒が 100 人を切ってしまう、そうなると部活の地域移行の将来性は危ぶまれ、神河との広域化の方向性も出てきます。ただ広範囲のため、例えばバスを出したとして子どもの送迎をすると片道 30 分以上かかり、往復していたら放課後が終わってしまい実際には不可能です。広域であっても休日中心で保護者が送迎せざるを得ない状況です。以前神河と、休日にはなりますが市川ではゴルフ、神河ではスキーなど町の特徴がある部活をと相談しましたが、送迎だけでなく費用面も含め保護者の負担がかなり大きくなること、今までは無料でしていた部活にお金がかかることになります。はたして親御さんができるかどうか。今は市川高校さんがバレーをしてくれており、市川中学校の子もたくさん行っています。それを、部活を兼ねて地域クラブ兼受け皿的なことがこれからどこまでできるか探っていくといけない状況です。</p>
副委員長	<p>学校の話が出たので。先日 NHK でしていたと思うが、全国的に廃校が増えてきていて企業が廃校を利用していると。自動車関係企業が体育館や教室に電子部品を並べて展示して</p>

令和 7 年度 第 2 回市川町総合戦略会議録

	いるそうです。5 年先、10 年先には町内 1 小学校、1 中学校になるから空いた学校の利活用についても戦略的に考えていく時ではないのか、閉校になってから考えるのでは遅いと思います。
町長	統合後は、3 つの小学校が余ります。13 年の統合を目標にしているのでそれまでに企業誘致は進めたいが、全国的に小中学校の統廃合が進んでいるのでどこもが企業誘致をされています。当町もすでに企業向け PR をしていますが、企業の取り合いと、学校施設という特殊な建物の問題、また建築後 40 年たっているなど問題がありますので利用の仕方を考えながら進めたいと思います。
委員長	学校施設は投資額が大きく使い勝手が悪い。教育関係は 1 町でやっていくべきかどうかも含めて考える必要があると思います。
委員	学校の統廃合のことで、統合は川辺小学校の場所で確定でしょうか。川辺小の場所はインターから近く、企業誘致に有利だと思います。企業誘致を最優先に考えるのなら、小学校統合は他の場所、もっと自然豊かなところでも良いのではないかと思います。
町長	4 つの小学校で築年数が一番新しいのが川辺小学校、教室の数が一番多いのも川辺小学校、みんなが入る場所を考えると川辺小学校になります。
委員	私が加西住民なので加西のことで言うと、あれよあれよという間に学校がなくなってしまう。来年の春に 4 つの小学校が統合されますが、一番中心のところに集まります。そうすると建物とかが新しいところが残っていくこともあります。学校の送迎はバスですよね、それだと便利な場所じゃなくても良いはずで、ちょっと外れたところの方が教育的に良いだろうし、にぎやかなものをつくる企業だったり商業だったりするのは、長い目で見れば活気ある町として一番川辺エリアが良いのではないかと思います。 高齢者のタクシーについて、瀬加地域からだとも 1 回で 1 万円が終わってしまう、川辺地域からだとも何回か使える、という声を聞きましたので、年齢ではなく地域も加味して金額等検討いただければ、利用しやすいかと思います。
委員	タクシーのことを言われていますが、労働人口が減っていて運転手がいけない状況。先ほども言われた通り、窮地に迫いやられてから対策を練るのではなく、今から考えないといけないと思います。
企画政策課長	運転手問題について、企画政策課でコミバスや買い物バスを担当していますが、バス会社から運転手がいけないと言われています。また運転手の労働条件にも縛りがあり、こちらが思うような運行体系を希望するのは難しいようです。今後は、小中学生や高齢者などバスを利用される状況になると思いますので、運転手問題については早めに考えていきたいと思っています。
委員	小学校の統廃合やバスの問題とかご意見がありましたが、そもそも市町が定める総合戦略とは何かを振り返ってみると、これは安倍政権の時に地方創生が出されて、要は人口減少や地域経済の衰退という課題に対して、どうやって対処していくかという戦略を作るべし、そこには交付金があってその計画に基づいて交付金をどのように使うのかという仕組みになっていると思います。今の市川町さんの計画もどちらかというと、こういうことをして人口減少をどう対処していくか人を増やしていくか、まちに活力が出るようなことをしていきましょうという内容になっていると思います。現実には減少をしていくことを受け入れざるを得ないなかで、衰退していくのに歯止めをかけていきましょうというのを、本当に考えていけないといけない状況だと思います。例えば、小学校の統廃合、クラブ活動、その他には上水道や下水道の問題、それは設備の更新あるいはそれに伴って料金をどうするか。市川町さんは町立

	<p>の病院はないけど、市町立病院は果たして維持できていくのか、というような非常にネガティブな課題っていうのがいくつかあると思います。総合戦略というのは、そういうものもちょっと考えていかなければいけない時期に来ていると思います。今のこの案をどうしてくださいますかという意味ではないですが、一方でやっぱりそういうことも住民の方に知っていただいて、そこにどう対処していくのかっていうこともそろそろ表に出していく時期なのかなと思います。また今後、この計画を見直していくにあたっては、その辺りもお考えいただければと思います。感想みたいな話で恐縮ですが以上です。</p>
委員長	<p>難しいですね。実際行政を進めようと思ったら自治会長さんの意見が強いでしょうし、学校教育の部分は子育て世代の意見もあるし、そこをどうしていくかまとめるのが難しい。</p> <p>実際、市川高校の生徒数減少で播但線の利用者数も影響しています。それは一体の話、その辺を総合的に考える必要があって、バスやタクシーも必要だけど、基本的にはあるものをどう残していくのかを考えないといけない。そういう意味でもパークアンドライドを拡充していただきたいと思います。</p> <p>学校教育の放課後クラブも無償が当たり前になっているのですが、これからそんなことは絶対あり得ない。その辺をどう周知していくか。親の送り迎えは、塾なら姫路まででもしている。ただ今まで無償でしていたのを公共がやると、なんでバスを出してくれへんのや、という話になる。持っていく方が非常に難しいと思います。行政側がそれを言ってしまうと叩かれるし、じゃあ誰が言うかというのがありますが。基本的にできないことは、はっきりさせていった方が良いでしょう。</p> <p>子育てのことで、例えばベビー用品のチケットを配布するという話で、聞いてみないとわからないですが、おむつなどアマゾンとかで買う割合がどれくらいあるのかなと。商工会が市川ペイを委託でしていますが、内容を見るとほとんどがマックスバリュ、コメリ、ダイソーにお金が出てしまっている、このチケットもその 3 つに流れてしまうだろうなと思います。利便性はどうかというのでも検討してもらいたいです。</p>
委員	<p>3点あって、1点目、小規模事業者持続化補助事業について、国の小規模事業者持続化補助金不採択者となっていて、中小企業診断士さんとかのサポートを得ながら事業計画を立てて申請すると思いますが、そこまでいかなければ不採択者が去年はどれくらいあったのか、その不採択者全員をひろうのか、</p> <p>2点目、若者世帯新生活応援事業と若者向け住宅取得支援について、これは提案だが結婚されてすぐに家を建てるということなら良いですが、市川町には補助もらって賃貸で住んで、いざ家建てる時は町外に出ようかというのを食い止めるために、若者世帯新生活応援事業を利用された方は、若者向け住宅取得支援をいくらか上乗せするなどの付加価値をつけられたら市川町に家を建てようかなと思う人があるかもしれないので考えてもらいたいです。</p> <p>3点目、自治会活動応援事業について、均等割で 20 万円、世帯割いくらとあるが、自治会がこんなことをしたいので助成くださいという、きちんと計画を出されるところに補助金を出した方が良いでしょう。その方が生きたお金になると思いますが。</p> <p>以上の 3 点です。2 点目は提案なので、1 点目、3 点目をお願いします。</p>
課長補佐	<p>1点目、小規模事業者持続化補助事業について、最初は創業支援ということで進んでいましたが、担当課、商工会と協議するなかで、そういう支援の実績が少ないこと、また先に支援金をもらったけどそれに見合う商売ではないという事業者がかなり多かったようです。それならば、今実際に町内で事業をされている方が販路拡大や事業形態を変えるなどして、実</p>

令和 7 年度 第 2 回市川町総合戦略会議録

	際に頑張られている方に対して応援したいという補助事業です。商工会を通じて国への申請をするのも、計画を作成するだけでかなり膨大な量なので、それをしようとされる方は本気度が高いと思いますので、それで不採択になった場合は救ってあげたいということで、不採択者を対象に町単独で支援しようと考えています。
委員	それは、町が審査するのでしょうか。
課長補佐	町が審査します。そのヒアリングはすると思いますし、国への申請の段階で担当課も商工会も入っているので申請事業の把握はできると思います。
企画政策課長	次に、自治会活動応援事業は総務課からの提案で、基本的にはプッシュ型で各区にお金を渡します。まずは補助金を何に使うかの計画書を提出いただき、年度末に実績報告書を提出いただくという方法です。
委員	その金額をもらって実際はしなかったら返してもらうのでしょうか。
企画政策課長	もちろん何もなければ返してもらいます。基本的には何でも使えるので、各区で子どもが生まれたらお祝い金を出す、草刈りを外部委託や出役者への日当にする、区のイベントにも使えるなど、他にもあると思いますが使い道は報告いただきます。
委員	これだけ見たらばらまきのように見えるが、きちんとできるのであれば良いと思います。
副委員長	自治会活動応援事業は有難いと思います。我々のところは中山間地区で、年々超高齢化社会が進んでいます。自治会事業も 80 歳を超えても出ないといけなくて、人を出してもらいたい人がいない状況。草刈、川の掃除も以前に比べて時間がかかるし負担が大きいので、全住民が喜ぶと思いますので有効に使わせてもらいたい。
委員	これは毎年するのでしょうか。
企画政策課長	毎年 5 年間します。
委員長	自治会の関連、補助金で助けてあげないといけない部分がありますが、成り立たないのが見えてきているので自治協議会を早めに立ち上げるべき地域は、早めに立ち上げるべきかと思います。学校統合をやっていっているのに、年寄りはまだ昔の校区のままで地域根性のようなことばかり前に出てしまい、あまり良い環境にはならないと思います。自治協議会と共に必要なのは、将来に向けて消防団の統合を急いでやるべき、30 代 40 代と一緒に消防団活動をした連中が、将来自治協議会、自治会活動をするのだから、若いうちからできるだけ顔がお互いにわかっている状況を作っていく仕組みを早くするべきだと思います。
委員	どれもが難しい問題、農業に関しては昨年から米価も上がっているのだから農家の方はちょっと楽かなと思いますが、地域の農業を守るのがだんだん減ってきているのが現状。それを法人や営農が維持していくにしても、機械が何千万とすごく高くて更新するのも四苦八苦しています。営農さんもですが、人がいないのが一番苦しい。農地を守ってくださいと神河・福崎からもずっとありますが、どう処理していくかということで、人を育てないといけないという義務があり、会社として雇用する限りちゃんと保障しないといけないリスクがあるので、思い切って人を入れることができない状況です。そういう意味で一番問題なのは草刈り等の作業だと思います。それと、水管理としてはインフラ整備をして水路の改修をしてもらえるような施策を考えてもらいたいです。それはインフラ整備もできていない地域の水路で管理するものが誰もいないという世界で、農地を守ってくれと言われるのは我々としても限界があります。
副委員長	2-2 地域の誇りと文化の継承で、日本人も知らない世界に誇れる橋本忍さんの生誕の地であるということ、例えば豊岡の日高町では植村直己冒険館の施設案内があちらこちらにあるように、播但道の市川南インターのちょっと手前に橋本忍生誕地といったようなアピールをしたり、国道沿いに看板をあげたり、そんな工夫があれば、この人は市川町生まれだったの

令和 7 年度 第 2 回市川町総合戦略会議録

	かと、播但道を走っている全然知らない人にも気づいてもらえて、市川南で降りてみようかと思ってもらえるのではないのでしょうか。それが人口増に繋がるかはわかりませんが、市川町に興味をもって足を止めていただき観光に繋がる、事業費の一部を充てても良いのではないかと思います。
企画政策課長	町内には、ゴルフクラブ発祥の地という看板は見かけますが、橋本忍さんの看板はどこにあるかなと考えたがちょっとわかりません。先ほど言われたように PR があまりできていないと思いますので、事業費を看板に使えるかどうか等詳細を詰め考えていきたい。
委員長	記念館の案内は問題ないですが、生誕の地とするのは親族の許可が難しいかもしれないですね。
委員	自治会活動応援事業の中で、何でもというのはちょっと。草刈りを OK にするなら農地に言うとか、その金額をあげるべきかと思います。そもそも、お金がない言うなら、お金をばらまかなくて良いと思います。補助金 20 万くらいは確かに有難いし、例えば公民館の改修もある程度のことはできると思いますが農地が管理できているところは草刈まではいらないと思います。
企画政策課長	この事業ができた経緯は、各区の要望がかなりバラバラで、これをここに対応しようとしても総務課としてはできない、公民館の改修補助もありますがその対象にならないような修繕にも対応できるよう、幅広く使えるように今回提案させていただきました。使いやすいのが一番ということで、使い道を決めずに補助金を出すということにしました。
委員長	毎回言っているが、子ども、人口が減っていくのをどう食い止めていくかという集まりです。5 年後どうするの、10 年後これを目指しているというのを、住民の皆さんがわかるように明確に出せるのが一番かなと思います。学校統合するのも一つですが、どんな学校を目指して統合するというのを明確に出してほしい。明確にだせないのであれば、住民の中で議論ができる場を設けるべきかと思います。町民が、どこに向かって住んだら良いのかというのを感じ取れるようなやり方をしていかなないと、住民はイメージ的にとらえてしまうので、神河は子育てに充実しているなど噂になってしまいます。戦略をしっかり打ち出して、大きなイメージ戦略も必要かなと思います。
副委員長	基本目標 4 の安心と快適を支えるまちで質問があります。今は自治会で防犯カメラをつけて防犯に役立っていますが、町が設置して管理しているカメラはありますか。
企画政策課長	甘地駅前には設置しています。今年は庁舎内に設置しました。
副委員長	今は自治会任せになっているので、安心というのであれば、小さい河川も含めて町が中心になって管理等検討してもらえたら、これは要望だが防犯だけでなく減災にも繋がると思います。
企画政策課長	協議事項(2)その他につきまして、チラシを配布していますのでその説明をします。 チラシの説明 委員長、進行をどうもありがとうございました。 それでは、閉会にあたりまして副委員長から挨拶をいただきたいと思います。
4.閉会 副委員長	失礼します。令和 7 年度も残るところあと 4 ヶ月あまりとなりました。 今日もそれぞれの各分野の方から貴重なご意見いただきまして本当にありがとうございました。もうちょっと、こう発言したかったなという方もいらっしゃるのではないかと思います。 令和 8 年度からの 5 年間、市川町の目指すまち作りが少しはっきりとしてきたように感じました。今日も話に出てきましたけれども、神河町はもう既に 1 万人を切っております。市川町も 1 万 500 人で 1 万人を切るというのは時間の問題だと思われます。そんな小さな市川町

令和 7 年度 第 2 回市川町総合戦略会議録

	<p>ですけれども、本日出席をしていただきました皆様方のお知恵を拝借しながら、これからもキラリと光る市川町を、今後もしていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いしたいと思います。本日は長時間にわたり、会議に出席いただきありがとうございます。以上でございます。</p>
企画政策課長	<p>それでは本日の総合戦略会議での委員様の意見を受けまして、また総合戦略を進めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>またこれから来年度の予算査定等もあり、実際にこの事業がこの予算でできるかどうかは、予算との関係もありますので若干変わってくるかもしれません。それも踏まえまして、また来年の 1 月か 2 月頃に第 3 回総合戦略会議をしたいと思いますのでまた日程調整をさせていただきます。それではこれで終わります。ありがとうございました。</p>